

第3部会【産業・環境部門】 会議概要録

【開催概要】

- 名 称：平成27年度第10回 東区自治協議会第3部会
- 日 時：平成28年2月12日（金）午後1時30分～午後3時20分
- 場 所：東区プラザ 音楽練習室2
- 出席者：西方委員、金子委員、國兼委員、宮嶋委員、小林委員、音田委員、
早福委員、水嶋委員
（事務局）地域課職員

【審議内容】

1. 「新潟港将来構想」の勉強会について（平成27年度自治協議会提案事業）

参加委員の感想をまとめた資料を基に振り返りをし、意見交換を行いました。

2. 東区の地域産業紹介事業について（平成27年度自治協議会提案事業）

(1) 事業評価書について

普及啓発事業として第3部会が担当した標記事業の評価について意見交換を行いました。

評価の内容については、出された意見を基に部会長・副部会長で取りまとめ、3月の部会で再度検討することとしました。

(2) 東区まちづくり実践塾記録集の原稿案について

標記事業について、記録集の原稿案を基に意見交換を行いました。ホームページの様子が分かるような掲載画像については部会長一任とし、次回、部会において再度原稿案を確認することとしました。

3. 平成28年度東区バスの運行案について

平成28年度東区バスの運行案について、既存の河渡・松崎ルートに加えて、紫竹・江南ルートの社会実験を実施する見込みであると、地域課から報告がありました。

4.「公共交通空白地域における移動支援調査」について（平成28年度自治協提案事業）

（1）区内の公共交通の現状調査について

来年度の担当企画を進めるにあたり、前回の審議内容について振り返りを行い、今後の方向性を検討するために、公共交通の担当課である地域課の意見を聞いた後、意見交換を行いました。内容は以下のとおりです。

【地域課の意見】

- ・生活交通改善プランでは「駅やバス停から離れた地域」として2つの地域（紫竹・江南、一日市）を設定しているが、以前より紫竹・江南地域からは公共交通の要望があり、人口が密集している地域であることから、今年度優先的にニーズ調査を行った。
- ・改善プランの2つの地域とは別に、実態として、バス停はあるが、時間帯によっては全くバスがなくなってしまう地域がある。また、河渡・松崎ルートも含めた区バス全体の利便性向上のため、できれば広く地域課題を把握して今後の公共交通施策の基礎資料となるような調査をしていただけるとありがたい。

【委員からの主な意見】

- ・自治協の部会でやる作業の限界もあるので、区役所と協働で、今後の施策に反映できるような、一日市も含めた区内全体のきめ細かい調査をやればよいと思う。
- ・有効となる専門的な調査が必要だと思うので、具体的な調査内容については業者と相談する必要があるのではないか。
- ・第3部会として、コミ協や自治会など地域にアンケートを行うことはできると思う。

（2）移動システムの事例研究について

県内の他自治体の公共交通施策事例について、市としてまとめた資料はないとの事務局からの報告を受けて、今後の方向性について意見交換を行いました。

【主な意見】

- ・路線バスよりも狭い範囲での交通はどんなものがあるのか羅列してもらって、それぞれどういう特徴があるのか勉強した上で、東区に取り入れられそうなものがあればさらに詳細に調べればよいのではないか。
- ・まずは、新潟市の他区でやっている事例についての資料を提供してもらいたい。

◎ 次回の開催について

- ・日時：平成28年3月3日（木） 午後1時30分～
- ・会場：山の下まちづくりセンター 会議室1